

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 大東港運株式会社

コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 曾根 好貞

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 荻野 哲司

TEL 03-5476-9701

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,066	10.0	240	△27.6	229	△29.0	123	△18.6
23年3月期第2四半期	8,245	12.7	332	142.8	323	168.0	151	139.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 118百万円 (△9.3%) 23年3月期第2四半期 130百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.14	—
23年3月期第2四半期	16.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,205	3,194	34.7
23年3月期	9,261	3,141	33.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,194百万円 23年3月期 3,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	1.6	330	△34.9	310	△34.0	170	△26.1	18.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	9,389,000 株	23年3月期	9,389,000 株
24年3月期2Q	2,493 株	23年3月期	2,493 株
24年3月期2Q	9,386,507 株	23年3月期2Q	9,386,507 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

※当社は、平成23年11月11日に、四半期決算説明資料「第63期（平成24年3月期）第2四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)におけるわが国経済は、第1四半期に東日本大震災の影響を受け、企業の生産活動は著しく低下したものの、第2四半期にはその影響も和らぎ回復傾向に向かいました。しかしながら欧州での財政・金融不安の継続、米国での雇用市場の低迷をはじめとする景気回復ペースの鈍化等による世界景気の低迷、加えて大幅な円高の進行により、依然として先行き不透明感が強まる状況で推移いたしました。

かかる環境下、当第2四半期連結累計期間における物流業界におきましては、輸出は回復傾向となり、輸入に関してもアジアは下げ止まり、米国・EUは横ばいとなりました。

その中で食品は水産物の輸出入が減少、果実・野菜等は微増で推移し、畜産物は多少の増加となりました。また鋼材の国内物流取扱いにおいても、鋼材主原料価格の上昇などの影響により減少傾向となりました。

このような状況の中、当社グループは第4次中期経営計画『お客さま信頼度ナンバーワンを目指して』をスタートさせました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は前年同期間比10.0%増の90億66百万円となりました。一方連結経常利益は、人件費と新基幹システム稼働に伴う減価償却費が増加し、前年同期間比29.0%減の2億29百万円となりました。また連結四半期純利益は前年同期間比18.6%減の1億23百万円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

[港湾運送事業及び港湾付帯事業]

港湾運送事業は、港湾施設使用料収入が増加したため、売上高は前年同期間比16.0%増の45億50百万円となりました。

陸上運送事業は、トラック運送料収入が増加したため、売上高は前年同期間比13.7%増の15億62百万円となりました。

倉庫業は、入出庫料収入が増加したため、売上高は前年同期間比9.9%増の15億67百万円となりました。

通関業は、輸入食品衛生検査料収入が減少したため、売上高は前年同期間比8.5%減の12億11百万円となりました。

この結果、港湾運送事業及び港湾付帯事業の売上高は前年同期間比10.5%増の88億91百万円となったものの、セグメント利益は前年同期間比4.2%減の6億14百万円となりました。

[その他事業]

その他事業は、構内作業料収入が減少したため、売上高は前年同期間比11.2%減の1億74百万円となったものの、不動産賃貸料収入の増加によりセグメント利益は前年同期間比502.3%増の19百万円となりました。

セグメント別売上高

区分	前第2四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		前年同期間比	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
港湾運送事業及び 港湾付帯事業	8,048,403	97.6	8,891,464	98.1	843,060	10.5
港湾運送事業	3,924,160	47.6	4,550,231	50.2	626,071	16.0
陸上運送事業	1,374,409	16.7	1,562,404	17.2	187,994	13.7
倉庫業	1,426,716	17.3	1,567,557	17.3	140,840	9.9
通関業	1,323,116	16.0	1,211,270	13.4	△111,845	△8.5
その他事業						
その他事業	197,035	2.4	174,878	1.9	△22,157	△11.2
合計	8,245,439	100.0	9,066,342	100.0	820,903	10.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総 資 産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は9億2千万円となり、前連結会計年度に比べ5億5千万円減少いたしました。主な要因は現金及び預金が6億2千万円減少した一方、受取手形及び営業未収入金が3億5千万円、投資有価証券が1億7千万円、たな卸資産が5億8千万円、前払費用が4億2千万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負 債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は6億1千万円となり、前連結会計年度に比べ1億8千万円減少いたしました。主な要因は支払手形及び営業未払金が1億8千万円、その他流動負債が2億4千万円、退職給付引当金が2億5千万円それぞれ増加した一方、短期および長期借入金が2億8千万円、未払法人税等が6億2千万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純 資 産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3億9千万円となり、前連結会計年度に比べ5億2千万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金が5億7千万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比較し2億58百万円増加し、当第2四半期末には11億50百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動において減少した資金は84百万円となりました。(前年同四半期は33百万円の減少)これは税金等調整前四半期純利益が2億18百万円となり、減価償却費1億2百万円、仕入債務の増加額1億89百万円があったものの、売上債権の増加額3億58百万円、法人税等の支払額1億64百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動において増加した資金は7億10百万円となりました。(前年同四半期は3億8百万の増加)これは定期預金の預入による支出2億30百万円、投資有価証券の取得による支出1億26百万円があったものの、定期預金の払戻による収入11億10百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動において減少した資金は3億67百万円となりました。(前年同四半期は92百万円の減少)これは短期借入れによる収入2億円、長期借入れによる収入1億80百万円があったものの、短期借入金の返済による支出3億50百万円、長期借入金の返済による支出3億16百万円および配当金の支払額65百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、通期の連結業績予想につきまして、平成23年5月19日に公表した数値に変更はございません。

今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,001,527	1,380,522
受取手形及び営業未収入金	2,593,450	2,952,776
たな卸資産	185,597	243,731
前払費用	34,512	77,326
繰延税金資産	121,968	117,286
その他	323,379	368,602
貸倒引当金	△17,244	△19,971
流動資産合計	5,243,191	5,120,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	444,522	428,237
機械装置及び運搬具（純額）	7,191	4,631
土地	1,412,637	1,412,637
リース資産（純額）	75,400	69,011
その他（純額）	56,768	48,137
有形固定資産合計	1,996,520	1,962,655
無形固定資産	620,245	596,436
投資その他の資産		
投資有価証券	386,691	494,610
破産更生債権等	167,955	167,139
繰延税金資産	360,736	374,246
その他	649,465	655,752
貸倒引当金	△163,365	△165,235
投資その他の資産合計	1,401,482	1,526,512
固定資産合計	4,018,248	4,085,604
資産合計	9,261,440	9,205,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,622,725	1,812,188
短期借入金	1,164,663	1,035,683
未払法人税等	173,470	110,864
賞与引当金	219,173	228,102
その他	392,799	417,461
流動負債合計	3,572,833	3,604,300
固定負債		
長期借入金	1,206,018	1,048,500
再評価に係る繰延税金負債	213,666	213,666
退職給付引当金	938,886	964,565
役員退職慰労引当金	1,590	1,732
長期末払金	92,990	92,990
その他	93,892	85,563
固定負債合計	2,547,044	2,407,017
負債合計	6,119,877	6,011,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	625,295	625,295
利益剰余金	1,656,562	1,714,165
自己株式	△909	△909
株主資本合計	3,136,997	3,194,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△811	△5,947
土地再評価差額金	3,885	3,885
為替換算調整勘定	1,490	2,022
その他の包括利益累計額合計	4,564	△39
純資産合計	3,141,562	3,194,561
負債純資産合計	9,261,440	9,205,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業収益	8,245,439	9,066,342
営業原価	6,381,779	7,177,176
営業総利益	1,863,659	1,889,165
販売費及び一般管理費	1,531,137	1,648,497
営業利益	332,521	240,668
営業外収益		
受取利息	3,598	2,746
受取配当金	2,962	3,719
受取保険金	2,695	537
受取地代家賃	2,018	2,207
負ののれん償却額	1,860	—
その他	5,282	6,490
営業外収益合計	18,419	15,702
営業外費用		
支払利息	23,385	20,898
複合金融商品評価損	—	4,589
為替差損	223	—
その他	4,078	1,479
営業外費用合計	27,687	26,966
経常利益	323,253	229,403
特別利益		
固定資産売却益	297	349
貸倒引当金戻入額	515	—
特別利益合計	812	349
特別損失		
固定資産除却損	1,292	114
投資有価証券評価損	33,649	7,919
災害による損失	—	1,325
ゴルフ会員権評価損	2,550	1,500
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,720	—
特別損失合計	44,212	10,859
税金等調整前四半期純利益	279,853	218,893
法人税、住民税及び事業税	147,549	103,292
法人税等調整額	△19,222	△7,707
法人税等合計	128,327	95,584
少数株主損益調整前四半期純利益	151,526	123,308
四半期純利益	151,526	123,308

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,526	123,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,356	△5,136
為替換算調整勘定	△1,318	531
その他の包括利益合計	△20,675	△4,604
四半期包括利益	130,851	118,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,851	118,704
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	279,853	218,893
減価償却費	48,886	102,976
災害損失	—	1,325
負ののれん償却額	△1,860	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,720	—
ゴルフ会員権評価損	2,550	1,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19,239	4,597
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	34,239	25,629
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	141	141
受取利息及び受取配当金	△6,561	△6,466
支払利息	23,385	20,898
為替差損益 (△は益)	203	△410
投資有価証券評価損益 (△は益)	33,649	7,919
複合金融商品評価損益 (△は益)	—	4,589
有形固定資産売却損益 (△は益)	△297	△349
有形固定資産除却損	1,292	114
売上債権の増減額 (△は増加)	△504,036	△358,247
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,832	△58,133
仕入債務の増減額 (△は減少)	228,481	189,462
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,183	21,243
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	3,070
その他	△48,189	△84,885
小計	97,048	93,868
利息及び配当金の受取額	7,461	7,208
利息の支払額	△31,425	△20,756
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△79,572	△164,899
役員退職慰労金の支払額	△26,535	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,023	△84,579

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,210,000	△230,000
定期預金の払戻による収入	1,760,000	1,110,000
長期預金の払戻による収入	200,000	—
保険積立金の積立による支出	△322,579	△11,911
保険積立金の解約による収入	12,004	—
有形固定資産の取得による支出	△12,099	△6,767
有形固定資産の売却による収入	400	535
無形固定資産の取得による支出	△104,920	△27,710
投資有価証券の取得による支出	△16,155	△126,704
投資有価証券の売却による収入	6	—
貸付けによる支出	△7,900	△5,500
貸付金の回収による収入	9,609	8,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	308,365	710,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△350,000	△350,000
長期借入れによる収入	370,000	180,000
長期借入金の返済による支出	△384,500	△316,498
リース債務の返済による支出	△13,797	△15,164
配当金の支払額	△64,287	△65,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,584	△367,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	△641	107
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	182,115	258,994
現金及び現金同等物の期首残高	803,292	891,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	985,407	1,150,522

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送事業及 び港湾付帯事業	その他事業	合 計		
営 業 収 益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	8,048,403	197,035	8,245,439	—	8,245,439
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	20,747	20,747	△20,747	—
計	8,048,403	217,782	8,266,186	△20,747	8,245,439
セグメント利益	642,086	3,272	645,359	△312,837	332,521

(注) 1. セグメント利益の調整額△312,837千円には、セグメント間取引消去△20,747千円、各報告セグメントに配分できない全社費用292,090千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送事業及 び港湾付帯事業	その他事業	合 計		
営 業 収 益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	8,891,464	174,878	9,066,342	—	9,066,342
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	34,866	34,866	△34,866	—
計	8,891,464	209,744	9,101,208	△34,866	9,066,342
セグメント利益	614,830	19,713	634,543	△393,875	240,668

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用393,875千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。